

「学生とシニアの対話会」 事後アンケート結果
 ～ 遠隔対話バージョン ～
 (2021年9月24日開催)

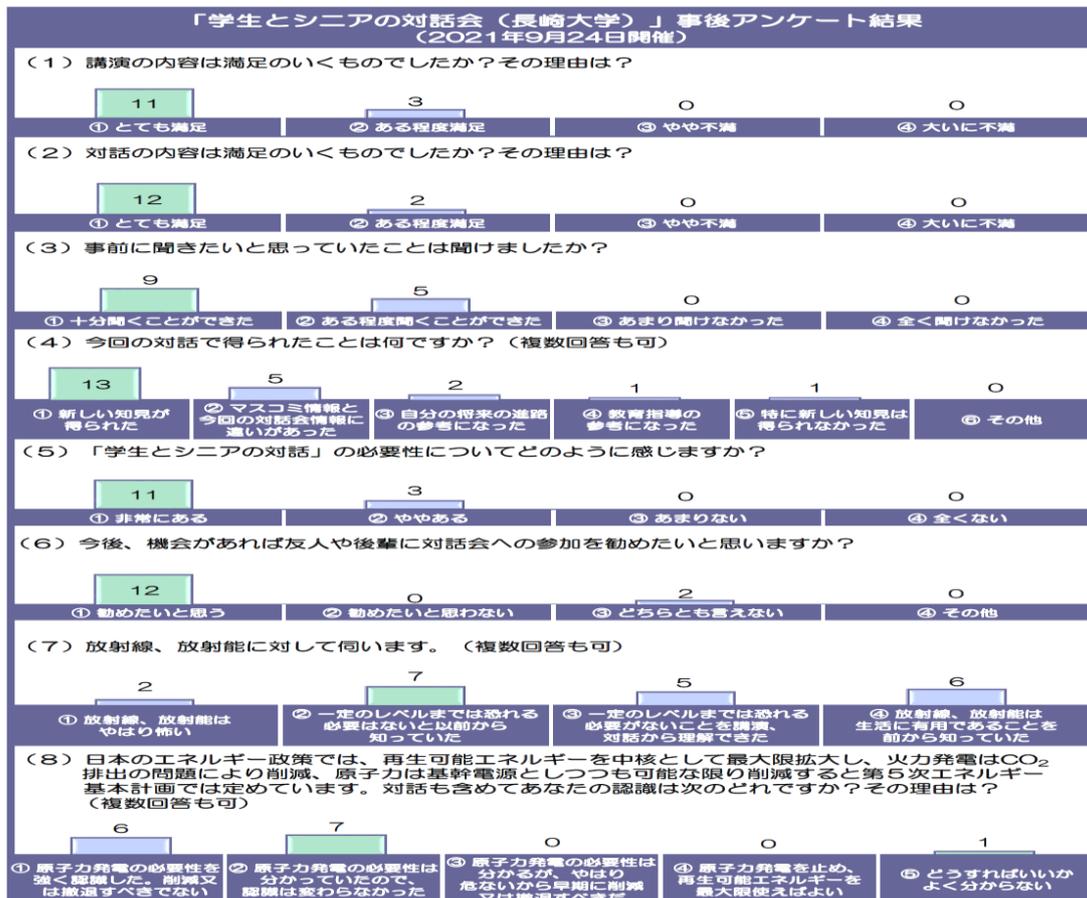
纏め：梶村 順二

*参加者（アンケート回収数14）

(内訳) 理系（機械・電気電子・情報・社会環境・総合・土木） 修士1年：7名、修士2年：7名

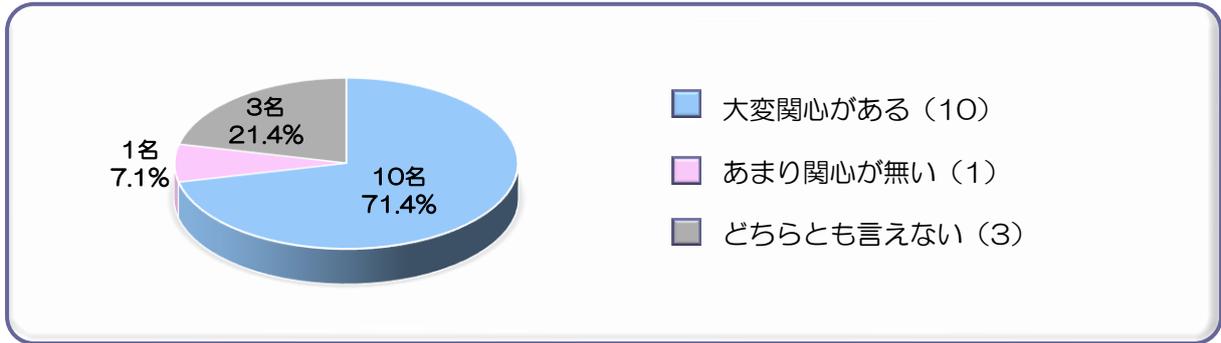
		修士1年	修士2年
就 職	メーカ－	1	3
	そ の 他	6	3
	未 定	0	1
計		14	

■概要

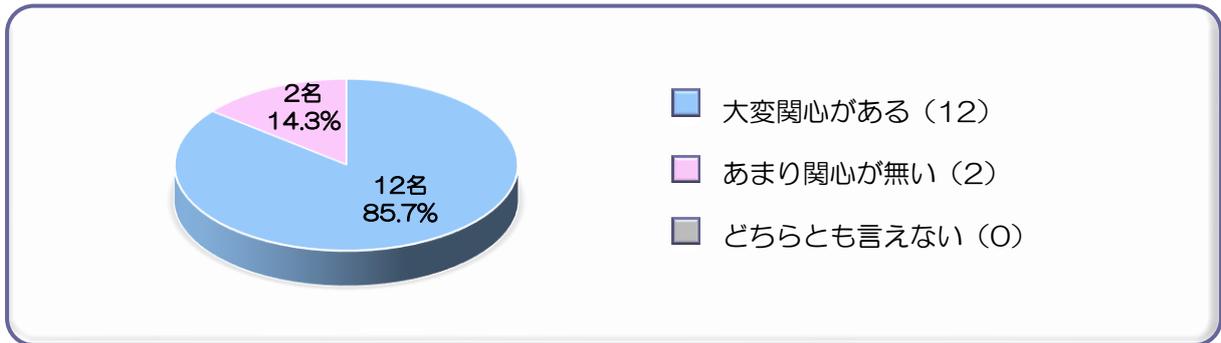


■日本や世界の出来事への関心について伺います。

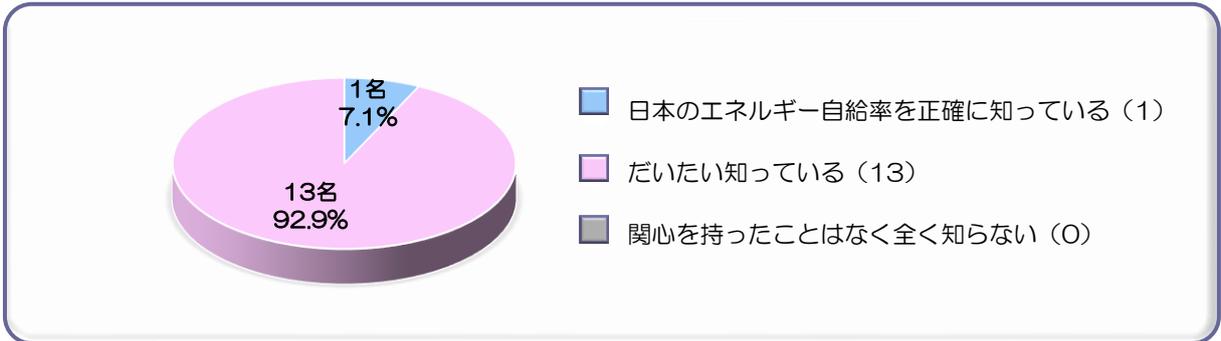
- 年金問題、少子高齢化等日本の将来への関心について。



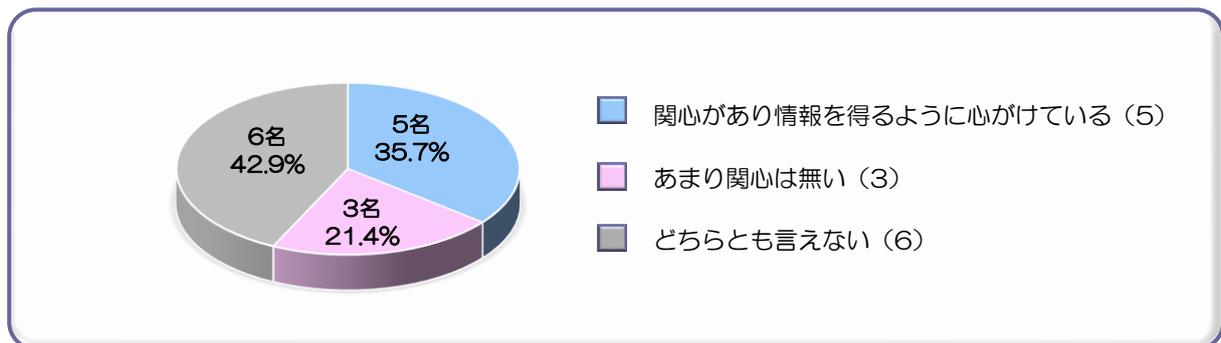
- エネルギー問題への関心について。



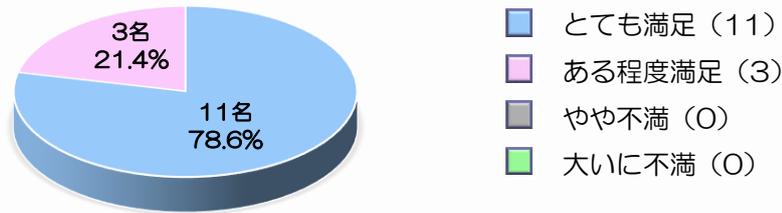
- 日本のエネルギー自給率について。



- 社会一般の安全やリスク（交通安全、食品安全、医療安全など）への関心について。



(1) 講演の内容は満足いくものでしたか？その理由は？



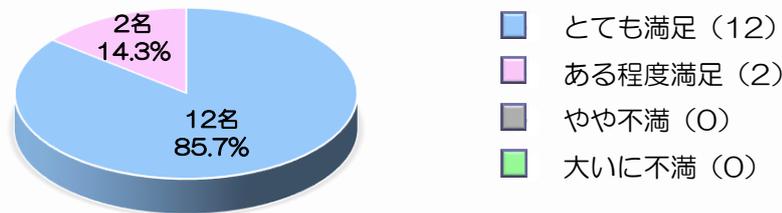
【とても満足】

- 原子力に対する曖昧な認識を解消させることができた。
- メディアの情報を鵜呑みにしている部分があったので原子力に対するイメージが変わり、考え直すきっかけになった。
- 講演を通して、エネルギー自給率や再生可能エネルギーなどについて深く知ることができた。
- エネルギーと再生可能エネルギーに関する各国の政策を知ることができた。
- 講演の内容が分かりやすく理解できた。
- 普段ニュースで聞き流していることを詳しく知ることができた。

【ある程度満足】

- 日本のエネルギー状況を理解することができた。

(2) 対話の内容は満足いくものでしたか？その理由は？



【とても満足】

- 再エネと原子力発電所の関係について対話することができた。
- 自分たちの素直な疑問にもシニアは丁寧に回答していただいたり、シニアも学生にどういう考えを持っているか聞いていただいたりしてとても有意義な対話になった。
- 対話会により、学生はより深く理解し考えることができた。
- 事前質問のさらに深い内容に加え、関連する話題についても話を聞くことができた。
- 現場で働いていたシニアから生の意見を聞くことができた。
- 政府のエネルギー政策について考え直すことができた。
- シニアの意見を聞くことができ、貴重な経験ができた。

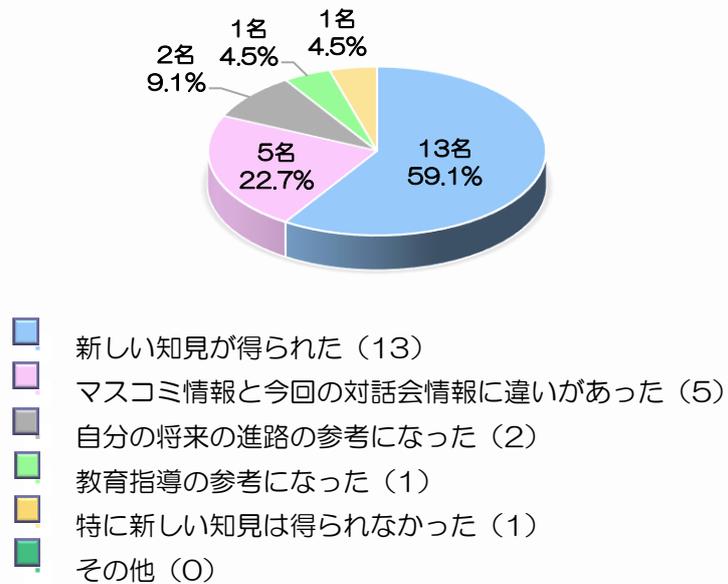
【ある程度満足】

- シニアと交流できたこと。

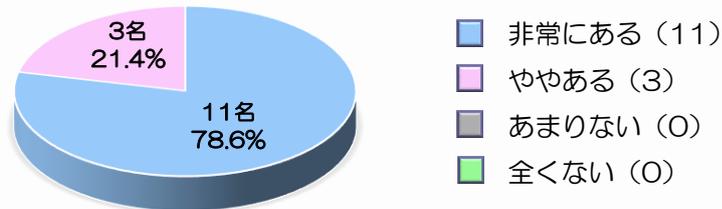
(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？



(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？（複数回答も可）



(5) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？



[非常にある]

- 対話することでより理解が深まる。
- 再生可能エネルギーに関する多くの疑問を解決し、多くの専攻外の知識を吸収し、将来の展望も理解することができた。
- 対話を通して、知識を深く理解することができた。
- 経験豊富な方からの話は非常に参考になる。
- ネットのニュースや記事などでは得られないような情報を聞くことができる。
- 講演だけではなく対話がなければ、受動的な学びとなってしまい、内容に対する理解も比較的深まらないと思う。

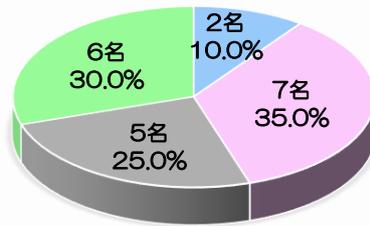
[ややある]

- 貴重な経験や専門的な知識を直接聞くことができる。

(6) 今後、機会があれば友人や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？

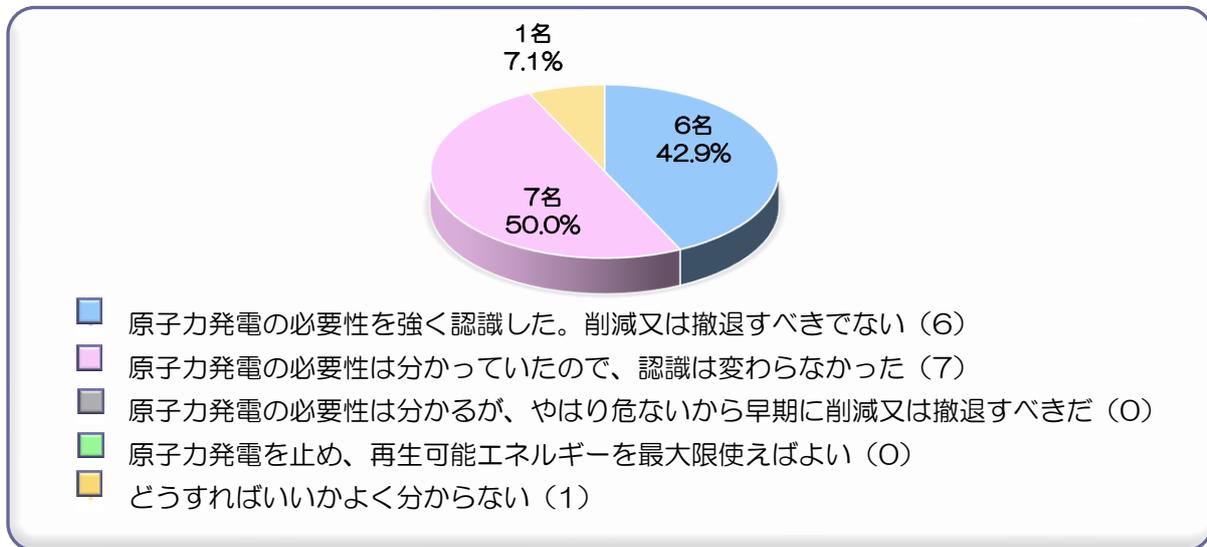


(7) 放射線、放射能に対して伺います。(複数回答も可)



- 放射線、放射能はやはり怖い (2)
- 一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた (7)
- 一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた (5)
- 放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた (6)

- (8) 日本のエネルギー政策では、再生可能エネルギーを中核として最大限拡大し、火力発電はCO₂排出の問題により削減、原子力は基幹電源としつつも可能な限り削減すると第5次エネルギー基本計画では定めています。対話も含めてあなたの認識は次のどれですか？その理由は？
(複数回答も可)



[原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない]

- 再エネだけでエネルギーを賄えるのであればベストであるが、それは難しく、CO₂削減のためには原子力も必要と思う。
- 原子力発電は、日本のエネルギー自給率向上に貢献できる。
- ゆくゆくは再生可能エネルギーにシフトしていくべきと思うが、技術が成熟していない状況で、急速に変革を進めることにより、自らの首を絞めることにつながると思う。
- 講義や対話を通して、再生エネルギーでは日本の電力を賄うことはできず、日本の経済にも悪影響を及ぼすことを学んだ。
- 東日本大震災以降、火力発電への依存度が高まっており、海外の情勢の影響を受けやすいこと、再生可能エネルギーは供給が不安定かつ安定した供給するための蓄電池、太陽光発電の拠点を増設するためには費用を多くかかるので、基準を決めたくうえで、安全対策をしっかりと行っており比較的安いといわれている原子力を活用すべきと思う。
- 原子力発電については、世界一厳しい規制もなされており、安全性については理解した。CO₂排出量を減らすためには、再生可能エネルギーも然り、原子力発電の運用は切っても切れぬ関係だと思った。

[原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった]

- IT技術の利用で、電力需要は増えてくると考えています。火力発電は温室効果ガス、再エネ発電は安定性に問題があると思います。このような状況で、安定的な電力を供給するためには原子力は必要と思っている。
- 日本のエネルギー政策で、脱炭素を目指す限り、再エネだけを中核とすることはコストや地理、気候の問題等があり、とても厳しいことは認識していました。リスクは大きいですがCO₂排出をほぼしない原子力は必要だと思います。
- 原子力は必要不可欠です。
- 原子力発電は、理性的に見るべき。
- 安全が確保できるという前提で広く使われているので潜在的な安全問題を解決することが急務です。
- リスクヘッジを行うことが前提ではあるが、長い目で見ても原発によって作られた電気を再生可能

エネルギーで賄うことは現実的ではない。

[どうすればいいのかよくわからない]

- カーボンニュートラル目標の達成のため、原子力発電が必要なことは分かったが、原子力の危険性について正しく理解できた自信がないため、結論を出せない。

(9) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・原子力発電は、電気といった形で私の生活に密接であるにも関わらず、知識としてはあまり持っていなかったのですが、今回の対話を通して理解を深めることができました。
- ・エネルギーや原子力の話は難しく感じていたのですが、実際に参加してみると分かりやすく説明していただきありがたかった。
- ・長年、企業の中でエネルギーや資源に携わった方々と対話することで、日本や世界のエネルギーや環境、資源の問題の重要性を確認することができた。
- ・政府の政策や専門家等の意見についても、メディアなどを通じて関心を持っていきたい。
- ・非常に意義のある企画であり、友人や後輩に対話会への参加を勧めたい。
- ・今までは、メディアの情報を鵜呑みにして原子力発電は核物質を使っていてとても危険なものであるという認識が強かったが、対話を通してカーボンニュートラルの実現のためには原子力発電がキーになってくるのではないかとイメージが変わってきた。
- ・私たちが将来生活するための次世代エネルギーについて考えるととても有意義な時間となった。
- ・対話を通して、今までの日本の環境対策およびエネルギー政策について理解を深めることができた。
- ・原子力の専門家の方々の話を聞くことで、原子力の安全性についての認識が大きく変わった。
- ・対話を通して、日本のエネルギーや原子力発電、2050年のカーボンニュートラルに向けた取り組みなどを知ることができた。
- ・テレビやネットでしか知らない出来事について、普段より少しだけ掘り下げて考えることができたので、とても有意義な時間を過ごせたように感じた。
- ・対話から発表までに時間がとても短かった。
- ・もう少し、学生たちで話し合う時間があったら、より見識を深めることができたのではないかと。